



Title	故高橋昭二教授 略歴、業績目録
Author(s)	
Citation	哲学論叢. 1985, 16, p. none
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/66829
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

故高橋昭二教授 略歴

昭和二年一月二日 出生 大阪市

昭和十九年三月 甲陽中学卒業

昭和二十三年三月 甲南高等学校文科乙類卒業

昭和二十六年三月 京都大学文学部哲学科卒業

昭和二十六年六月 大阪大学文学部助手

昭和三十八年四月 大阪大学文学部講師

昭和三十九年十二月 大阪大学文学部助教授

昭和四十年四月 大阪大学大学院文学研究科哲学哲学史専攻を担当

昭和四十五年四月 大阪大学文学部教授 哲学哲学史第二講座を担当

昭和四十五年十月 関西哲学会委員

昭和四十六年三月 文学博士（大阪大学）を授与される

昭和四十八年五月 日本哲学会委員

昭和四十八年十月 ドイツ連邦共和国、ハイデルベルク大学で研究

昭和五十一年 四月

大阪大学評議員

昭和五十一年十二月

日本カント協会常任委員

昭和五十五年 二月

学術審議会専門委員

昭和五十九年 二月十九日

逝去（五十七歳）

故高橋昭二教授 業績目録

(著 書)

カントの弁証論
 歴史の哲学(共編著)
 若きヘーゲルにおける媒介の思想(I)
 哲学の諸問題(編著)
 カントとヘーゲル

(論文)

カントの歴史哲学
 カントの先験的統覚
 カントとベルグソン
 カントの弁証論

創	北	晃	晃	晃
文	樹	洋	洋	洋
出	書	書	書	書
社	版	房	房	房
		昭和四四年	昭和五五年	昭和五九年

哲学研究三七―	哲学研究三八―	『勁草書房』	哲学研究四二―
九	一一	房	八
昭和三〇年	昭和三一年	昭和三六年	昭和三九年

カント批判期前の哲学

伊達先生の哲学

ドイツ観念論の社会哲学

若きヘーゲルにおける媒介の思想(1)

若きヘーゲルにおける媒介の思想(2)

カントとフィヒテ

若きヘーゲルにおける媒介の思想(3)

カントの形而上学

若きヘーゲルにおける媒介の思想(4)

知識とドクサ

若きヘーゲルにおける媒介の思想(5)

若きヘーゲルにおける媒介の思想(6)

(その他)

ヘーゲルの愛の弁証法(書評)

カント哲学の現代的意義

河野 真氏「シェリングの哲学」への質問

大阪大学文学部紀要一四

伊達四郎遺作集

『別離の論理』

『社会の哲学』

哲学論叢 一

哲学論叢 三

『社会思想史(1)』

哲学論叢 六

理想 五六四

哲学論叢 八

哲学論叢 九

哲学論叢 一〇

哲学論叢 一二

哲学論叢 一三

哲学論叢 一四

哲学論叢 一五

哲学論叢 一六

哲学論叢 一七

哲学論叢 一八

哲学論叢 一九

『未 来』 六 六 社

毎日新聞(夕刊)

「哲 学」 二五

昭和四七年

昭和四九年

昭和五〇年

昭和四三年

昭和四四年

昭和五〇年

昭和五二年

昭和五三年

昭和五三年

昭和五五年

昭和五五年

昭和五六年

昭和五七年

昭和五七年

昭和五八年

昭和五八年

昭和五八年

昭和五八年

昭和五八年

昭和五八年

昭和五八年

昭和五八年

昭和五八年

カントの自律の概念をめぐる

カントにおける理性の不安について（書評）

K・レーヴィット
哲学的人間学の問題によせて（翻訳）

『中央公論』三月
『世界の名著』三九

講談社
『坂部恵』三月
『白木』三月

『現代の人間学』七
『社』三月

昭和五四年

昭和五四年

昭和五四年